



明日は変えられる。

アステラスメールマガジンです。

今回は、6月19日に開催予定の第20期定時株主総会、最近のニュースおよび新たなストーリーの公開についてお知らせします。

IRミニトピックス

≪IR関連情報≫

■「株主総会」を更新しました

第20期定時株主総会招集ご通知を公開しました。当社の定時株主総会は、昨年に引き続き、会場出席に加えインターネットによるご出席が可能です。招集ご通知及び配当金関連書類は6月3日に発送いたしました。

<https://www.astellas.com/jp/investors/shareholders-meeting>

■5月7日 IZERVAY 2025年ARVO（視覚と眼科学研究協会会議）年次総会および2025年RWC（世界網膜学会議）で地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性に関する新たなデータを発表

<https://www.astellas.com/jp/news/29846>

■5月7日 役員人事に関するお知らせ

5月7日に開催した取締役会において、役員人事について内定いたしました。6月19日に開催予定の第20期定時株主総会に新任候補者として付議するAndreas Busch氏およびMark Enyedy氏の選任は、当社の取締役会の多様性を拡充することによる持続的な発展への重要な一歩となります。彼らのグローバルな視点と製薬業界における豊富な経験と見識は、取締役会の監督機能および実効性のさらなる強化につながると考えています。この決定は、株主を含むステークホルダーの皆様との対話の結果を踏まえたものです。

<https://www.astellas.com/jp/news/29856>

■5月20日 2025年米国臨床腫瘍学会（ASCO）年次総会においてがん領域ポートフォリオの新たなデータを発表

<https://www.astellas.com/jp/news/29901>

■5月23日 前立腺がん治療剤エンザルタミド 第III相ARCHES試験の追跡調査において転移性ホルモン感受性前立腺がん患者の生存率を統計学的に有意に延長

<https://www.astellas.com/jp/news/29911>

■5月26日 DTx流通プラットフォームの開発・運用に向けた3社間基本合意書を締結

塩野義製薬、当社、およびNTTデータは、デジタル治療サービス（以下「DTx」）の普及を目指し、「DTx流通プラットフォーム」（以下「本プラットフォーム」）の開発・運用に向けた検討を開始する基本合意書を締結しました。

本プラットフォームの構想は、各事業者の協力によるDTx市場の「共創」を理念として取り組みます。DTxの開発に関する知見を有する塩野義製薬および当社、ならびにITサービスを提供するNTTデータが、各領域の知見を集約し、業界標準に資するプラットフォーム提供を実現することで国内DTxのスムーズな普及と発展を目指します。

<https://www.astellas.com/jp/news/29906>

■5月30日 アステラス製薬とEvopoint Biosciences CLDN18.2を標的とした抗体-薬物複合体XNW27011の独占的ライセンス契約を締結

中国のバイオ医薬品企業であるEvopoint Biosciences Co., Ltd.との間で、CLDN18.2を標的とした臨床段階にある新規の抗体-薬物複合体（ADC）XNW27011の独占的なライセンス契約を締結しました。本契約により、当社は、XNW27011の全世界（中国本土、香港、マカオ、台湾を除く）における開発および商業化に関するライセンスを取得します。

アステラス製薬は、世界で唯一承認されている抗CLDN18.2モノクローナル抗体であるVYLOYをはじめ、CLDN18.2を標的とする複数のがん免疫療法の研究開発において高い専門性を有しています。XNW27011はアンメットメディカルニーズを満たす可能性があり、CLDNを標的とするプログラム、および他の標的に対する複数のADCを有するアステラスのがん治療パイプラインを強化します。

<https://www.astellas.com/jp/news/29931>

■「膀胱がんの早期診断の鍵を解明する」ストーリーを公開しました

この記事では、膀胱がんは発見が遅れると致命的な結果を招く可能性があること、そして症状に対する認識が依然として低いことを強調しています。

アステラスは、世界膀胱がん患者連合（WBCPC）や行動科学者と協力し、早期発見が遅れる理由を解明しようとしています。文化的、心理的、社会的な障壁を理解することで、この見過ごされがちな病気に罹患した人々の早期診断を促進し、必要な医療ケアをより迅速に受けられるようにするための新しい方法を模索しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[膀胱がんの早期診断の鍵を解明する](#)

■「グローバルヘルスへの取り組み」ストーリーを公開しました

この記事では、アステラスと小児用プラジカンテルコンソーシアムのパートナーが達成した成果を紹介しています。これは、住血吸虫症に影響を受けている乳幼児に新しい治療オプションを提供するための取り組みです。

この度、ウガンダで初回投与の開始という重要なマイルストーンが達成され、コンソーシアムのパートナーシップによる10年以上の努力が実を結びました。アステラスCMCディベロップメント 製剤研究所長の小島宏行がビデオインタビューに登場し、アステラスが研究開発において果たした役割について語っています。小島はこの経験をキャリアの中で最も記憶に残るものの一つだと述べています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[グローバルヘルスへの取り組み](#)

■「ポンペ病患者さんと共に未来を創る」ストーリーを公開しました

このストーリーでは、患者さん中心の取り組みの重要性に迫り、患者支援団体やグローバルなキーオピニオンリーダーとの連携がどのように私たちの活動を支えているかを紹介します。アステラスがどのように患者さんの実際の体験や具体的なニーズを理解し、研究者と患者さんとの協力を通じて、より患者さん中心の臨床試験や健康の向上を実現しているのかを探ります。

さらに、ポンペ病を抱える患者さんたちのストーリーも取り上げ、私たちの取り組みがどのような影響を与えているかを示しています。患者さんのストーリーは、私たちが取り組んでいる業務の重要性を思い出させてくれる力強いメッセージです。

希少疾患領域のペイシェントパートナーシップリードであるクリスティーン・ブラウンは、「ポンペ病を発症することで生じる負担や、新たな治療法がもたらしうる価値とリスクを患者さんがどのように捉えているかを理解することが重要です」と語ります。この言葉は、私たちが患者さんの声を重視し、研究開発に取り入れることへのコミットメントを示しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[ポンペ病患者さんと共に未来を創る](#)

MRの仕事

くすりを創るだけでは、

くすりはくすりになれない。

正しい使い方や、適した患者さん。

的確な情報が伝わって初めて、

本当のくすりになれる。

その情報をドクターに届ける仕事。

くすりに生命を吹き込む仕事。

それが、MRという仕事。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

6月と言えば、我が家にとってはジューンベリーの季節。その名の通り、6月に実を付け、季節を知らせてくれる木です。今年の春は季節の進みが比較的緩やかだったためか、6月に入って実を鈴なりにつけてくれました。小鳥が赤く色づいた実をついばみに集まる様子は、見ているだけで心が和みます。一方で、今年の夏は気温が高そうとの予報が出されています。本格的な梅雨の季節も始まり、体調管理が難しい季節に入りますが、どうぞご自愛ください。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvvg61>

アステラスメールマガジン No.121 (2025/6/3)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社 (編集: 広報 IR)

お問い合わせ先: <https://www.astellas.com/jp/contact-us/individual-investors-contact>



Copyright 2025 Astellas Pharma Inc. All rights reserved.